

第11回 ウィズガス  
全国親子クッキング  
コンテスト

燃えろ！

# 料理魂 新聞



川西市立東谷小学校のみなさん

## 号外

発行  
ウィズガスCLUB  
一般社団法人日本ガス協会近畿部会  
作成協力：NPO法人D.Live

# 近畿地区代表決定！

近畿地区決勝大会  
最優秀賞



高嶋 緋愛さん・早由紀さん親子  
愛♡がいっぱい播州ご飯♪

近畿地区決勝大会  
優秀賞



田中 健太郎さん・雅晴さん親子  
おもてなしTHE空海

2017年11月26日（日）大阪ガスショールーム「ハゲミュージアム」にて、第11回全国親子クッキングコンテスト近畿地区予選大会が行われました。各地区予選大会で選ばれた12組の親子が料理を作り「最優秀賞」「優秀賞」「キッチンマン賞」「ニッポンハム賞」「あまから手帖賞」「炎の調理賞」が表彰されました。当日の会場は、出場親子の家族が応援する姿も印象的で、参加されたみなさまにとって白熱した大会になりました。

～トピックス～

- ★ 全国大会は来年1月28日（日）に東京で開催されます。
- ★ 最優秀賞のレシピが、「あまから手帖2月号」（1月発行）で掲載紹介されます。

近畿地区決勝大会  
キッチンマン賞



藤本 千紘さん・弘志さん親子  
がんばって作ったわが家のごはん

近畿地区決勝大会  
ニッポンハム賞



西 隼人さん・英樹さん親子  
男のワンプレート～まほろばから～

近畿地区決勝大会  
あまから手帖賞



佐野 里帆さん・宏信さん親子  
ユネスコ認定ジオパークまるごと料理&パパと私の楽しいクッキング

近畿地区決勝大会  
炎の調理賞



大西 花音さん・めぐみさん親子  
わが家のルーツにぎやかごはん  
～大切にしたい、笑顔あふれる家庭料理～



岡川 真宙さん・聖代さん親子  
みんなで〇マル！



田中 美咲さん・亮子さん親子  
健康第一！楽チン 簡単 快腸メニュー



内藤 幹太さん・さやかさん親子  
ぼくのフルコース  
～京都府福知山バージョン～



阿部 大翔さん・奈津子さん親子  
こども大好きチャッチャッとチャーハン



横山 葵陽さん・ふゆみさん親子  
秋の食材を使ったうちの特せいメニュー



廣田 愛実さん・起子さん親子  
湖と大地の恵～染み滋味おいしい我が家の近江飯

【予選大会レポート】

# 近畿地区予選大会

## 豊岡大会

日時 9月30日(土)  
会場 豊岡エネルギー  
料理講習室

今年度は事前に小学校さまへ訪問し、家庭科担当の先生に本コンテストを夏休みの課題として取り上げていただけるようにお話しをさせていただきました。  
その結果、初めて夏休みの課題として3校の小学校さまに取り上げていただくことが出来たため、参加数が前年比、3280%という驚異的な数字となりました。



## 河内長野大会

日時 10月1日(日)  
会場 クラッシュモ  
クッキングスタジオ

今年度も、市内5校の小学校で夏休みの課題として取り組んでいただき、学校単位での応募と個別の応募などを含め、計284通のレシビをいただくことができました。回を重ねるごとに先生方とのコミュニケーションも図れ、食育として親子クッキングコンテストを活用していただける良い機会となっています。



## 福知山大会

日時 10月9日(月・祝)  
会場 榊長田野ガスセンター  
ガス体感住宅「ウイステリア」

市内7校の小学校で夏休みの課題として取り組んで頂き、昨年の421組を上回る494組の応募数を記録しました。応募メニューは、焼きそばグラタン、そば寿司、おぼろやん直伝の参鶏湯スープなど、各家庭ならではのオリジナルレシビが多く見られました。



## 福井大会

日時 10月15日(日)  
会場 福井市企業局  
ガスクッキングスタジオ

福井地区では、新たな小学校が学校単位で参加いただいたこともあり、昨年度の2倍を超える、666組の応募がありました。  
予選会場では、沢山の応募の中から特に良かった100組の応募用紙を展示し、ご来場者の皆さんにご覧いただきました。



## 洲本大会

日時 10月21日(土)  
会場 洲本市総合福祉会館  
調理室

洲本大会では、教育委員会様への大会協力依頼や、各学校の校長先生、教頭先生、家庭科の先生への協力依頼等の取り組みを行いました。  
今年度は最終5組のご応募があり、予選大会は、その中から選ばれた2組で開催しました。



## 大阪大会

日時 10月29日(日)  
会場 ハグメニューシアム

大阪会場では、大津市企業局・桜井ガス・大和ガス・大阪ガスの4事業者共同で予選大会を開催しました。今年度は824組の応募の中から見事、書類審査を通過された15組の親子に「わが家の自慢メニュー」を披露していただきました。

競技前には出場親子同士でご挨拶。競技開始時には、出場親子や会場関係者全員の「親子クッキング、スタート!」という掛け声で競技をスタートさせたり、とても楽しい雰囲気の中で予選大会開催となりました。

出場者さまからは、コンテスト出場をきっかけに「料理を作るという共同作業を通じて、親子のコミュニケーションをとることが出来た」といった親子の絆に関するお声や「普段からも積極的にお手伝いをしてくれるようになった」といった子供さんの成長に関する嬉しいお声を多数いただきました。



## 編集後記

親子クッキングレポーター隊の感想  
インタビュをして初めは緊張して上手にできなかったけれど最後は上手にできました(安本) 試食して、作った人の愛情がしみりと伝わってきました(坂本) メモを書くのに四苦八苦しましたが、なんとか終わらせることができました(榎本) 取材でメモをする時、思ったより速くメモしないといけないで大変だった(生田) 親子の料理の工夫などを取材して、どの親子もチームワークが良いとわかりました(鈴木) みなさんの料理にはたくさん工夫が詰まっています。私もまねをしたいと思つた(桐本) 取材のやり方やコツがいろいろあつて、うまく使うのに苦労しました(松岡)